

## 八幡市域中高一貫教育に関する研究協議会（第2回）

1 日 時：平成17年10月7日（金） 午後1時30分～午後4時

2 場 所：府立八幡高等学校会議室

### 3 意見等

#### 中高一貫教育の導入について

- ・ 中学校3年間だけでなく中高一貫で6年間高校受験なしにゆっくりと落ち着いて勉強できるという選択肢が増えるのは良いこと。
- ・ 中高一貫教育では、地元貢献や人材育成の観点からも検討していくべき。
- ・ どのような生徒に照準をあてて中高一貫教育を行っていくのか。
- ・ 八幡高校への総合選択制の導入に加えて中高一貫教育を導入することで再編校をより魅力的なものにしていくべき。

#### 導入形態について

- ・ 八幡の地域性や小中高連携の強さ、八幡高校への総合選択制の導入を生かして連携型によることが適当ではないか。また、他の地域のモデルにもなる。
- ・ 地域全体の教育力の重厚な底上げを行う連携型がよいのではないか。
- ・ 小学校から地域が一体になって子どもを育てていく、地域密着型がよい。
- ・ 地域での連携をベースにした八幡の併設型というものができないか。
- ・ 八幡地域だけで考えると連携型だが、山城地域全体の教育で考えると中等教育学校もあってよいのではないか。ただし、医療系や医学部への進学に特化するなど連携によるものと競合しないものである必要がある。
- ・ 再編後の姿を考えると連携型をとれば八幡市域の小中学校の教育の中身について新たな可能性を開くことができるのではないか。
- ・ 八幡では小中高一貫で進めてきている特色を生かすということでは連携型になるが、難関校を受験していく人材を輩出したいという狙いを達成するなら併設型。連携型と併せて併設型もできないか。
- ・ 併設型や中等教育学校はシンプルだが、八幡の今までの実績を考慮したら連携型をじっくりと検討していくべき。
- ・ 八幡の地域性を生かし、従来のものを大事にする連携型に魅力があるが、新たな発信をするときに併設型などの違う方法を同時に盛り込めないか。

#### その他（諸課題等）

- ・ 連携型にはいろいろな連携の仕方があるのでじっくりと研究することが必要。
- ・ 高校は全国区的な学校と地域密着型の学校に機能分化していている。それぞれの部分を取り込むことは可能だが、小・中・高とつないで八幡の子どもに教育していこうということを抜きにはできない。
- ・ 連携型で心配するのは、今やっていることをどれくらい越えることができるか。
- ・ 併設型と連携型では集団の交わり方が違う。教育力（学力）をつける観点と併せて人間関係の形成への影響も考えないといけない。
- ・ 連携の場合、複数校の連携を公平にできるか。
- ・ 連携型では簡便な試験で高校に入学できるので、中学生の学力レベルの低下による高校の質の低下が懸念される。中学校での指導がより重要となる。
- ・ どのような形態であれ、再編と併せて中高も含め検討していくべき。